

お わ り に

当センターでは、平成 13 年度から、「学校や地域の特色を生かした保育，学習指導の研究 - 郷土素材の教材化を通して -」の研究主題のもと研究を進めてきた。

研究を進めるに当たって、私たちは「郷土への理解を深め、愛情を培う学校」の実現に向け、各学校で、これまで以上に積極的に郷土素材を活用した保育，学習指導に取り組むことができるように、その具体的な方策等を明らかにすることが重要であると考えた。

そこで、郷土の文化や伝統等の中から、遊び，音楽，踊り，食，美術等に関する身近な素材に焦点を当て、郷土素材を活用する意義，教材化の進め方，展開の実際等について調査研究してきた。

1 年次は、学校や地域の特色を生かした保育，学習指導についての考え方や郷土素材を活用した保育，学習指導の在り方等の理論研究を行い、その有効性等について明らかにした。

2 年次は、各学校において、学校や地域の特色を生かした保育，学習指導の意義が十分に理解され実践できるように、研究協力者と連携を図りながら、郷土素材を教材化した実践例を収集したり、構想例を思案したりして、郷土素材の積極的な活用がなされるように研究を推進してきた。

その結果、幼稚園，音楽科，図画工作，美術科，家庭，技術・家庭科，体育，保健体育科においても、郷土素材を活用することが、保育やそれぞれの教科の基礎・基本の充実を図る上で有効であることを明らかにすることができた。そして、郷土素材の教材化の手順を明らかにしたり、今後の保育，学習指導を進める上で参考となる事例及び構想例をまとめたりすることができた。

今後、県下の優れた事例等を収集するとともに、その有効性を検証するとともに、各学校へ提供していきたい。

本研究は、まだ十分なものではないが、各学校において郷土素材を活用した保育，教科指導の積極的な展開の一助になれば幸いである。

最後に、実態調査に御協力いただいた学校，この研究に具体的な提案や実践例，それに基づく貴重な資料等を提供いただいた先生方，研究協力員の方々に厚くお礼を申し上げたい。